MA2012-6

船 舶 事 故 調 査 報 告 書

平成２４年６月２９日

運輸安全委員会
Japan Transport Safety Board

（東京事案）

1　交通船フレッシュありかわ乗揚

2　モーターボート涼乗船者負傷

3　貨物船新賢和丸貨物船第八昭和丸衝突

4　貨物船大航丸乗揚

5　漁船大康丸漁船宮島丸衝突

（地方事務所事案）

函館事務所

6　漁船第六十三潮丸乗組員死亡

7　貨物船阿州山丸火災

8　漁船第１８太平丸乗組員死亡

9　漁船博栄丸乗組員死亡

10　漁船第三十八興運丸乗組員死亡

11　プレジャーモーターボート貴号乗組員死亡

仙台事務所

12　漁船東海丸乗組員負傷

13　貨物船NANTICOKE BELLE衝突（灯浮標）

14　漁船明勝丸乗組員行方不明

15　水上オートバイハッピーⅠ同乗者負傷

16　漁船第七冨丸遊漁船第一あけぼの丸衝突

横浜事務所

17　漁船信丸乗組員死亡

18　漁船第２清丸乗組員死亡

19　ロールオン・ロールオフ貨物船フェニックス衝突（岸壁）

20　漁船光栄丸乗揚

21　漁船第五十六新栄丸火災

22　実習船ひたち乗組員負傷

23　遊漁船ブラックエンゼルいそじ衝突（岩場）

神戸事務所

24　漁船第八光祥丸乗揚

25　水上オートバイボンバイエ〇号水上オートバイピッチー衝突

26　漁船釣三丸乗組員死亡

27　貨物船第十福徳丸液体化学薬品ばら積船律和丸衝突

28　遊漁船裕凪丸プレジャーモーターボート氷輪丸衝突

29　貨物船やまなか漁船小野丸衝突

30　旅客フェリーフェリーふくおか２衝突（ドルフィン）
31　モーターボートＨＯＫＵＴＯ転覆
32　モーターボートヴィーナスプレジャーボート磯丸衝突
33　貨物船裕福引船早美丸衝突
34　モーターボートＳＥＡＧＵＬＬ－Ⅲ乗揚
35　漁船三嘉丸瀬渡船第八浜凪丸衝突
36　水上オートバイ１５Ｆ水上オートバイＸ２衝突

広島事務所

37　油タンカー第十二松丸浸水
38　プレジャーボート喜菖乗組員死亡
39　旅客船旗正丸乗組員死亡
40　貨物船だいゆう丸衝突（陸上クレーン）
41　ケミカルタンカー隆政丸衝突（桟橋）
42　プレジャーボートチェリーブロッサムⅡ衝突（かき筏）
43　液化ガスばら積船第十二いづみ丸衝突（防波堤）
44　小型兼用船大宝丸衝突（かき筏）
45　プレジャーボート魁水上オートバイ敦美Ⅰ世衝突
46　ケミカルタンカー慶洋丸乗揚
47　貨物船第八幸榮丸乗揚
48　漁船海進丸漁船三和丸衝突
49　海洋調査船第八開洋丸漁船昇陽丸衝突
50　モーターボート花登丸乗揚
51　巡視艇なち衝突（防波堤）
52　モーターボートあさしお衝突（かき筏）

門司事務所

53　貨物船第五辰丸乗揚
54　作業船第三十八明力丸乗揚
55　漁船美貴丸転覆
56　漁船漁栄丸乗揚
57　漁船善漁丸漁船第１８海栄丸衝突
58　漁船信勝丸火災
59　プレジャーボートＤＡＮＴＨＵ号乗揚
60　貨物船東進丸乗揚
61　漁船海幸丸乗揚
62　旅客フェリーニューつしま漁船海幸丸衝突

63　引船龍豊丸台船Ｙ２７漁船福與丸衝突

長崎事務所

64　貨物船第二 三栄丸漁船第五十八白鴎丸衝突

65　貨物船第八海上丸乗揚

66　漁船幸漁丸乗組員負傷

67　遊漁船平成丸モーターボートオカムラⅢ世衝突

68　油送船大和丸衝突（橋脚）

69　漁船海涼乗揚

70　遊漁船光隆丸遊漁船竜宝丸衝突

71　漁船七福丸乗組員死亡

72　漁船喜栄丸転覆

73　漁船祐勝丸乗揚

74　作業船清勝沈没

那覇事務所

75　プレジャーボートヤシマ丸転覆

本報告書の調査は、本件船舶事故に関し、運輸安全委員会設置法に基づき、運輸安全委員会により、船舶事故及び事故に伴い発生した被害の原因を究明し、事故の防止及び被害の軽減に寄与することを目的として行われたものであり、事故の責任を問うために行われたものではない。

運輸安全委員会
委員長　後藤昇弘

≪参　考≫

本報告書本文中に用いる分析の結果を表す用語の取扱いについて

本報告書の本文中「３　分　析」に用いる分析の結果を表す用語は、次のとおりとする。

① 断定できる場合
・・・「認められる」

② 断定できないが、ほぼ間違いない場合
・・・「推定される」

③ 可能性が高い場合
・・・「考えられる」

④ 可能性がある場合
・・・「可能性が考えられる」
・・・「可能性があると考えられる」

20　漁船光栄丸乗揚

船舶事故調査報告書

平成２４年５月２４日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決
委　　員　　横　山　鐵　男（部会長）
委　　員　　庄　司　邦　昭
委　　員　　根　本　美　奈

事故種類	乗揚
発生日時	不明（平成２４年１月１７日　１５時４０分ごろ～１５時４５分ごろの間）
発生場所	三重県尾鷲市尾南曽鼻（おなそはな）東方の西コージ岩付近 尾南曽鼻灯台から真方位１０９°３００m付近 （概位　北緯３４°０４.９′　東経１３６°１６.２′）
事故調査の経過	平成２４年１月１９日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか１人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 Ｌ×Ｂ×Ｄ、船質 機関、出力、進水等	 漁船　光栄（こうえい）丸、０.５トン ＭＥ３－５７１２４（漁船登録番号）、個人所有 ６.８０m（Lr）×１.５０m×０.４０m、ＦＲＰ ディーゼル機関、２７kW（漁船法馬力数）、昭和６３年８月
乗組員等に関する情報	船長　男性　６８歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日　昭和５０年３月２８日 免許証交付日　平成２０年８月２１日 （平成２６年４月２５日まで有効）
死傷者等	死亡　１人（船長）
損傷	船首船底部破口、船首船底左舷側防舷帯一部脱落及び推進軸曲損
事故の経過	本船は、船長が１人で乗り組み、平成２４年１月１７日１５時００分ごろ僚船８隻と共にえび刺網漁のために尾鷲市須賀利漁港を出港した。 船長は、１５時４０分ごろ、尾南曽鼻東方の東コージ岩付近において、えび刺網の仕掛けを終え、１隻の僚船の後に続いて須賀利漁港に向かって帰途についた。 本船は、１５時４５分ごろ、他の僚船により、西コージ岩付近に無人で乗り揚げているところを発見された。 船長は、１９日０８時２４分ごろ、尾南曽鼻東方の西コージ岩周辺において、巡視船の潜水員により発見され、医師による検死の結果、溺死と検案された。
気象・海象	気象：天気　晴れ、風向　西南西、風力　２、視界　良好 海象：波高　約５０cm、潮汐　約８１cm（尾鷲）
その他の事項	本事故の目撃者はいなかった。 船長は、膨張式救命胴衣（以下「本件胴衣」という。）の上に合羽を着用していた。

	本件胴衣は、手動用の紐のほかに水を感知して自動膨張する機構であったが、膨張していなかった。 海上保安庁及び漁協関係者の情報によれば、本船には、他船との衝突痕は認められなかった。 船長は、本船の乗揚場所付近で発見された。 本件胴衣の取扱説明書の警告には、外衣として着用する旨が記載されていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 本船は、１５時４０分ごろ須賀利漁港へ帰航を始め、１５時４５分ごろ西コージ岩付近に乗り揚げているところを発見されたことから、この間において、須賀利漁港へ帰航中に西コージ岩付近に乗り揚げたものと考えられるが、船長が死亡したことから、乗揚に至った状況を明らかにすることはできなかった。 船長は、溺死した。 船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。 船長が着用していた本件胴衣は、膨張していなかったが、その理由を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が漁を終え、須賀利漁港へ帰航中、西コージ岩付近に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・膨張式救命胴衣は、着衣の上に着用すること。	